

## 目標達成計画

作成日: 令和元年 11月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	入居者の豊かな暮らしを支援するにあたり、携わる職員がケアプランへの理解を深めることが必要と思われる。プランに沿った記録とモニタリングの在り方について、工夫・検討に期待したい。	計画作成担当者だけでなく、職員もアセスメントとモニタリング行うことができるようになる。職員はそれらを行うことによって、ケアプランをより深く理解し、次のプランに生かすために記録もしっかりとできるようになる。	アセスメントとモニタリングがどのようなものか、研修を行う。職員がそれらを実行しやすいような書面書式を検討する。作成した書面書式は職員たちのスキルの向上とともに内容を見直し、より正確に内容が記録できるように改良する。	12ヶ月
2	33	看取りに関する指針についても、口頭での説明のみならず、書面での同意が望まれる。	ご入居者様とご家族様に、当ホームが考える看取りの指針をしっかりとご説明し、その内容にご納得いただき、ご署名を頂く。また、ご入居者様のご体調の変化のたびに、ご意見をお聴きし、ご意見の変化にも対応する。	管理者はご入居者様とご家族様が主治医と面談できるよう日程の調整を行う。主治医による現在のご体調についてのご説明をお聴きし、看取りの指針についてご説明し、同書面にご署名を頂く。	12ヶ月
3	35	入居者の命を預かる事業所として、いざというときに確実に対応できるよう、様々な状況を想定した訓練の実施が望まれる。地域への訓練参加の呼びかけも望まれる。また、ホームの状況に合った自然災害マニュアルの整備にも期待したい。	火災、地震、土砂崩れ、水害、台風、大規模停電など、起こりうる様々な災害について、地域自治会との連携を図り、全国の事例を参考にしながら、ホームの状況に合った分かりやすい災害マニュアルを作成する。	まずマニュアルを作成する。火災だけでなく、その他の起こりうる災害について対応訓練を実施する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月